

約9ヵ月間のアメリカでの生活がもうすぐ終わりを迎えようとしています。今月の主な出来事としては、2月19日に行われた帰国報告会と、2月24日に English Language Center (ELC) で行われた毎学期恒例の Celebration Dinner でした。そこで、今回はこの2つについて報告させていただきます。



図1. Dinner で出されたケーキ

● 帰国報告会

2月19日に帰国報告会が行われました。そのため、2月15日に日本へ帰国しました。久しぶりに帰ってきたわけですが、改めて日本の空港がきれいに掃除されていることに気がきました。帰国報告会では、ELCでの授業の様子、ELCを通して学んだこと、取り組んできたことなど、英語で発表しました。金沢工業大学の先生方を前に英語で発表するのは2回目でした。1回目は、この交換留学へ参加するための試験として、ロチェスター工科大学と金沢工業大学を比べるというテーマで2010年2月に英語で発表しました。秋学期に「プレゼンテーションスキル」という科目を取っていたので、発表原稿を作る際あまり苦労せずに作ることができました。発表中は緊張しましたが、先生方の質問にもしっかりと答えることができました。報告会終了後は、またアメリカへ旅立つ準備をし、2月20日に日本を出国しました。6月に日本を発つときは緊張と不安でいっぱいだったのですが、今回は早くクラスみんなに会いたいなどという思いが強く、わくわくしていました。入国審査でも、審査官が英語で質問してきても焦ることなく質問に答えることができ、9ヶ月間学んできたことが活かされたなと思いました。ちなみに、6月に初めて来たときは、審査官の言っていることを理解するのに時間がかかりました。

また今回の帰国の際、クラスの友達や寮の友達に一回日本へ帰りまた戻ってくると伝えてきました。すると、クラスメートからたくさんのメッセージをもらいました。図2にそのメッセージボードを示しました。また、寮の友達からもドッキリを仕掛けられたたくさんのメッセージをもらいました。図3に寮の友達がくれたメッセージの写真を示しました。こんなにも、素晴らしい友達に出会えたことにとてもうれしくなりました。

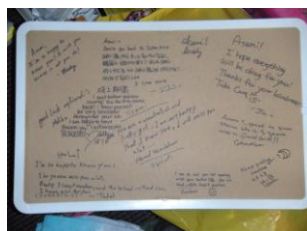


図2. クラスメートからのメッセージ



図3. ドア一面に張られたメッセージ

● Cerebration Dinner

2月24日に毎学期の終わりごとに行われる Cerebration Dinner が開催されました。いつもは見送る側だったのに、今回は見送られる立場になってしまいました。席は自由席だったので同じクラスの人達のテーブルに座りました。今学期のクラスは女子が私を含め2人だけでした。そのため、席は図4のように男子ばかりの席になってしまいました。最後ということもありたくさんの人達と写真を取ることができました。その写真を図5から図12に示しました。この会の最後に修了証をもらったのですが、我慢できず泣いてしまいました。絶対泣かないと決めていたのですが無理でした。



図4. クラスのみんな



図5. 韓国人の女の子 Jin



図6. 韓国人の女の子: Jiyoona



図7. Ms. Becky Millar



図8. Ms. Tanya Schular



図9. クラスメートの Ahmed と Talal



図10. 韓国人の女の子: Soenjin



図11. クラスメートの Talal と Sinan



図12. 修了証書を受け取る様子

● 最後に

この留学を通じて学んだことは、たくさんありました。英語やアメリカの文化はもちろんのこと、中東諸国の文化や経済状況、また宗教など私が興味を持っていた部分についても学ぶことができました。

留学前の研修から指導してくれた札幌野順教授、国際交流室の小森早苗様、藤村 志都様、宮本香代様、交換留学の参加を許可してくれた大澤敏教授、そして、留学への参加を許可し、いつも私を支えてくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。アメリカへの留学という貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。